

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

大槌の学びをつなぐ「ふるさと科」 ～一年間を振り返って～

大槌学園3年生～海たんけん～

はまぎく若だんな会の方と一緒に蓬莱島や吉里吉里国、考古園に出かけて、大槌の海にある宝物を探しました。



【児童の感想】

- ・自分たちが生まれ育った大槌のことを、見渡す限りきれいで美しいと思っていたけれど、海たんけん、山たんけんではいろんなことを知って、もっと大槌の魅力があふれて、きれいで美しい町なんだなあと思いました。いつまでもこのきれいな町を離れたくないなあと思いました。
- ・大槌のために働いている人は、大槌をきれいに大事にしようと思っていると思います。大槌の恵みを知って、ずっと大槌で生きていきたいと思っています。

吉里吉里学園6年生 ～吉里吉里の漁業について調べよう～

PTAの田中さんや漁協女性部を講師に迎え、新巻鮭をつくったり鮭を使った料理に挑戦したりしました。



【児童の感想】

- ・初めて鮭を使ったハンバーグを作りました。上手にできてよかったです。
- ・ハンバーグもホタテのご飯も鮭汁も美味しかったです。みんなで料理するのはとても楽しかったです。
- ・今日、覚えた料理を自分の家でも作ってみたいです。

大槌学園7年生～新巻鮭づくり～

11月にさばいて塩漬けた鮭を、大槌漁協や鮮魚店、地域の方々と一緒に、「洗う」「干す」という最後の工程を行いました。



【生徒の感想】

新巻鮭のつくり方は前から知っていたけれど、知らなかったところもあったので、次作るときは教えてもらったようにしたいです。新巻鮭の皮を強くこするとおいしくなると言っていたので力強くうまい鮭を作れるように頑張りました。何百年間も大槌で伝わっている新巻鮭を次の年代にも伝えていきたいです。

吉里吉里学園7～9年生 ～郷土芸能伝承活動(虎舞)～

地域の方々や小学部のみなさんに虎舞を披露し、新型コロナウイルスに負けないように勇気と元気を届けました。



【参観した方々の感想】

- ・地域の伝統芸能を子どもたちが一生懸命練習して披露しているのを見て、涙が出そうなくらい感動しました。
- ・小学部と一緒に合唱する子どもたちの姿を見て元気をもらいました。素敵な歌声でした。ありがとうございました。

大槌学園と吉里吉里学園では、子どもたちの「生きる力」や「ふるさと創生」といった力を、9年間を通して育んでいます。地域のみなさまとともに未来の大槌を担う子どもたちを育てていきますので、今後とも引き続きご理解ご協力をお願いします。

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



大槌高校
ホームページでも
行事の様子を
発信しています！

大槌を舞台に学んだ1年、学びの発表会！

昨年度から取り組んでいる探究活動では、各学年ごとに自分自身や地域について考え、表現する活動を行っています。1年間を通して、それぞれの生徒が行動し、学んできたことを自分の言葉で発表しました。

3年生 私が「18年間で身につけた“大槌（ハンマー）”とは？



3年生は、卒業前の集大成として、「私が18年間で身につけた“大槌（ハンマー）”」をテーマに個人プレゼンテーションを発表しました。“大槌（ハンマー）”とは、本校のコンセプトである「大海を航る大槌を持とう」で使われている、経験を通して身につけた力（＝強み）を意味します。それぞれの生徒が18年間で身につけた力を振り返り、地域に伝えたい知見とともに十人十色の発表を行いました。生徒の発表は、学校ホームページなどで一部公開を行います。大槌町で育った3年生の学びをぜひご覧ください。

3年生の発表は以下の3つの方法でご覧いただけます！※公開期間：2021年3月～5月予定

- ① 大槌町文化交流センター「おしゃっち」内モニター
- ② ケーブルテレビ「おおちゃんねる」
※町内の一部難視聴地域に限られます
- ③ 大槌高校ホームページ
(写真・スライドのみ)
※右のQRコードから飛べます



2年生「マイプロジェクト発表会」



2年生は、自らの興味関心や身の回りの気になることをテーマに「マイプロジェクト」を企画します。それぞれの生徒が地域の方のご協力をいただきながら、調査やイベント企画などを進めてきました。2月には、1年間の活動と学びを成果を7分間のプレゼンテーションにまとめて発表しました。次年度マイプロジェクトに取り組む1年生も見学し、「それぞれが興味あることを極め、地域に出ながら活動しているのが印象的だった。」という感想がありました。

1年生「大槌町の未来像を考える」



1年生では、「Simulation 大槌 2030」と題して大槌町の抱える課題や実施している事業に対する理解を深めます。これまで、役場職員へのインタビューやグループでのディスカッションを経て、大槌町の未来像を考えてきました。2月には、考えてきたことを町長や議員、役場職員に聞いていただきました。参加者からは、「高校生が町のことを考えてくれるのは嬉しい。できる限り町民の声に耳を傾けて、事業を進めていきたい」という声をいただきました。